

児童発達支援 ステップ光町ホップ教室自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	3		1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2		
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		2	2	時期を検討して、実施する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		1	3	実施した自己評価の結果についてはその都度、ウェブサイトで公表する
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	今後の検討課題とする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	1		保護者からの聞き取りやサービス利用計画、事業所での様子に基づいて作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		平成30年度から、WISKIV、新版K式発達検査を導入する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	3		今後作成する児童発達支援計画書の様式をガイドラインに沿って記入可能なものに見直ししていく。 また、そのための勉強会を職員間で持つていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1		小集団での活動が主なので、それを前提として支援計画を立てている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	職員全員で行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	1		最初は小集団での活動を前提として支援計画を作成する。必要と判断すれば個別支援を行う。その場合は見直しの際に支援計画
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			日常的に実施している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			日常的に実施している
19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日常的に実施している	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			日常的に実施している
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			会議の開催日や時間帯により参加できなかったり、連絡がない場合もあったりするので、すべての担当者会議に参加できているわ
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		1	3	保護者や、担当者会議で求められれば行う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		1	3	設問に該当する子どもは支援していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		4		設問に該当する子どもは支援していない。
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	2	保護者や、担当者会議で求められれば行う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		1	2	保護者や、担当者会議で求められれば行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		3	研修を受け入れてもらう方向で、連携を取っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	設問のようなことを望まない保護者もおられるので、当事業所では実施は困難。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		2	2	開催日や時間帯により参加できないことがある。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		1	日々取り組んでいる。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		講義形式では行っていない。月に何回かトレーナーの方に来ていただいて、個別に行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に時間をかけて説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1		今後作成する支援計画において実施する。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			日常的に行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	1	保護者同士が話せる場を提供している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		内容によると思うが、必要であれば設問のように対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		2	2	会報は発行していない。次月の予定表は早めに渡している。携帯、ラインでの連絡は可能。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	設問のようなことを望まない保護者もおられるので、当事業所では実施は困難。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		2	2	必要に応じて、国立感染症研究所や広島市が提供する情報を事業所内に掲示している。 行政が指定する避難所の地図を事業所内に掲示している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	2	1	消防署の指導により適宜行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			契約時に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		保護者の指示により対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	2	日常的に行っている職員間の打ち合わせで情報共有している。事例集は今後作成する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2		県・市が実施する研修会等に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		1	身体拘束については運営規定に記載している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。